

入院診療計画書

病棟：

様

診断名:異所性妊娠 治療方針:腹腔鏡下核出術 ver.1

年 月 日
特別な栄養管理の必要性: 有 ・ 無
推定される入院期間: 6～8日間

主治医:

担当看護師:

患者様サイン欄:

ご家族様サイン欄:

	入院日・手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目～5日目
達成目標	不安を表出することができる		疼痛を訴えることができる	早期離床ができる ドレーン・点滴があるため、抜けないように注意し過ごすことができる 異常なく経過し、セルフケア行動がとれる			退院後の注意事項について理解できる
安静度 リハビリ 退院	・病棟内を自由に歩く ことが出来ます。 	・手術まで病棟内を自由 に歩くことが出来ます。 ・歩いて手術室へ行きます。	・ベッドに寝たままです で安静にしてください。 ・寝返りや膝立ては できません。	・看護師と一緒に歩いた 後、病棟内を自由に 歩くことができます。		・経過によって退院で きます。→	→
食事	・入院日:常食が摂れ ます。 ・手術前日: 昼食:ソフト食 夕食:ジュースのみ です。 21時以降、食べられ ません。 ・緊急手術の場合は上 記の通りではありません。	・食べることはできま せん。飲み物は()時 までです。その後はう がいができます。		・お腹の状態によって 食事を開始いたします。 ソフト食(朝から水分を とれます。)→昼食:軟 菜食→夕食:常食。※ 手術時間が遅くなった 場合や緊急手術では、 食事開始が遅れること があります。	・常食が摂れます。 		
注射・薬剤	・入院前から飲んでい る薬がある方は確認し ますので、お渡し下 さい。 場合により中止しま す。 ・場合によっては手 術前日に下剤処置を行 います。 12時に錠剤を2錠飲 みます 15時から水薬(900 ml)を1時間かけて 飲みます。 脱水予防のため、点 滴も同時に行います。	・点滴を行います。→	・痛み、吐き気など、 必要に応じて薬を使 用しますので、申し 出て下さい。 	・全ての点滴終了後、 針を抜きます。 (食事が取れない場合 は点滴を続行します) ・医師の指示により ますが、入院前から 飲んでた薬を、再び 飲み始めます。	→		
検査	・採血の検査があり ます。 			・採血の検査があり ます。		・血液検査と尿検査 があります。	
処置	(手術前日) ・お臍の部分を清潔 にします。 ・手術する部位の毛 を短くします。 ・マニキュアは落と します。	・指輪やネックレス などの装飾品を外 します。 ・下着を取り、T字 帯、弾性ストッキング を着用します。	・酸素マスクをつけ ます。 ・心電図モニターを つけます。 	・歩行後、弾性スト ッキングを外しま す。 ・状態によって創の ガーゼ、テープを 交換します。	・退院についての診 察があります。→		→
清潔 (シャワー 入浴など)	・入浴ができます。 	・入浴はできません		→	・発熱など異常がな ければシャワー浴 ができます。 	→	
排泄	・歩いてトイレに行 くことができます。→		・手術室で全身麻酔 後に尿を出すため の管を入れます。	・尿の管を抜きます。 ・管を抜いた後は、 歩いてトイレに行 くことができます。	→		→
患者様及び ご家族への 説明	・医師および看護 師が手術、入院に 関する説明を行 います。 ・手術承諾書と輸 血同意書を看護 師にお渡し下 さい。 ・麻酔科医師より 手術前の診察が あります。 ・薬剤師が薬の 内容について説 明します。		・医師から御家族 に手術の結果に ついての説明が あります。 ・お待ちのご家 族の方が、病 棟を離れる際 は、看護師へ 声をかけてくだ さい。			・医師が退院につ いて説明しま す。	・薬剤師が退院 後の薬の内容と 管理について 説明します。 ・看護師が退 院後について 説明します。 ・退院2週間 後に受診して ください。

注1) 病名及び治療内容等は、入院時に考えられるものですので、検査・治療を進めていくにしたがい変更することがあります。

注2) 入院期間、表記の日時については入院時での予定です。

板橋中央総合病院